

第3次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）案に対する
パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和3年1月16日（土）から同年2月15日（月）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの2月1日号及び市ホームページ

3 公表方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) こども家庭支援課（担当課等）における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見等への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
第1章 プランの策定に当たって	0					
第2章 本市の食に関する特色	6	4		1		1
第3章 本市の食を取り巻く現状	7		4	2		1
第4章 プランの基本的な考え方	1					1
第5章 基本目標別、施策の方向性と基本施策	19	2	4	7	1	5
第6章 ライフステージごとの目標と個人の取組	3	2				1
第7章 プランの推進体制	0					
参考資料	4	1	3			
その他全般	12		3	8		1
計	52	9	14	18	1	10

※ 意見等への対応区分

- A：意見等の趣旨等を計画案に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
- D：計画案に反映できないもの
- E：その他（感想、質問等）

「第3次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
1	第2章	6	(1) 名水や多様な農産物を育む風土 8行目の後の内容に誤りがあります。 誤≫「秦野軽水」 正≫「秦野名水」	A	御意見のとおり修正しました。
2	第2章	8	(1) 地場農産物の利用 小学校給食への地場農産物の導入について記載されていますが、中学校給食への地場農産物の導入の実現に向けた検討の旨は、記載しないのでしょうか。 上位計画である、秦野市総合計画案には記載されていましたので、本計画案でも記載すべきだと思います。	A	ご意見を参考に、中学校給食における地産地消の活用について、加筆しました。
3	第2章	9	(2) 学校での食育活動 【主な食育活動】にて、「○ 担任と栄養教諭や…」とありますが、文頭の調整について、下記の内容にした方が良いと思います。 旧≫ ○ 担任と栄養教諭や栄養職員との連携授業 学級活動の中で、学級担任と栄養教諭や栄養職員が連携して食育の授業を行っています。 新≫ ○ 担任と栄養教諭や栄養職員との連携授業 学級活動の中で、学級担任と栄養教諭や栄養職員が連携して食育の授業を行っています。	A	御意見のとおり修正しました。
4	第2章	9	左下写真「3年生「社会科」」とありますが、右上写真「3年生「とうもろこしの授業」」のように、具体的にどのような授業をしているのか、記載するべきだと思います。 また、右下写真「5年生「家庭科」」についても、具体的に何を調理しているのか（不明であれば「調理実習の様子」）、記載するべきだと思います。	A	御意見を参考に修正しました。
5	第2章	11	(1) ポンチーヌ 主に子どもにもっと親しんでもらえるように、キャラクターデザインを変えたいかがでしょうか。	E	ポンチーヌは平成26年度から着ぐるみにより市内の認定こども園、保育所、幼稚園での食育活動を行っています。園児や保護者から大変人気を得ており、小、中学生にも「かわいい」と好評です。引き続き、秦野市の食育キャラクターとして活用し、さらなる食育の普及啓発を行っていきたく考えます。
6	第2章	11	ポンチーヌや食育の歌はあまり知られていないのではないかと。もっとPRした方がよいと思うし、周知が大事だと思う。市庁舎で昼の時間に食育の歌を放送してもらうのも良いのではないかと。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
7	第3章	16	アンケートにより秦野市の状況を把握しているが、どのような方法で行っているか。	E	乳幼児健診や各事業における調査、市民Webアンケート調査、小・中学校における調査などにより把握しています。
8	第3章	18	むし歯については、本市はよい数字だったと思う。これを生かして啓発していったらよいのではないかと。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第3次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
9	第3章	19	図8 食育への関心がある人の割合 18ページの最後の図が、図6になりますので、下記の記載内容にしてください。 旧≫「図8 食育への関心がある人の割合（単位：％）」 新≫「図7 食育への関心がある人の割合（単位：％）」 ※これ以降の図の番号も変わります。	B	18ページには2つの図があり、最後の図は図7となっています。
10	第3章	24～28	基本目標1 楽しく食べて健康なからだをつくります。～生涯食育の推進～視点1からだ 24ページに記載している基本施策と、25ページの表内に記載している基本施策が統一していません。また、すべての基本施策に対して、何故、成果もしくは課題を記載できないのでしょうか。基本目標2及び3も同様。	B	25ページ表内の「基本施策」は基本目標達成に向けた施策の方向性を示したものであるため、「施策の方向性」に修正します。24ページの「基本施策」はそのための取組について記載しており、内容が異なります。またここでは、施策の方向性と成果指標に対して課題と成果を記載していません。 (基本目標2、3についても同様とします。)
11	第3章	26	地場産物の使用割合については、近隣市の割合を載せ、秦野がどのくらいなのか比較できるとよい。	C	地場産物の使用割合は、自治体により対象品目や算定方法が異なり、比較が難しい点もありますが、近隣市の取り組みも参考にしながら、地場産物の使用拡大に努めます。
12	第3章		市の現状把握について、国や県の数値があるものは載せてあると、より本市の状況が分かりやすいと思う。	B	同様の調査を行って比較できるものについては、記載しています。
13	第3章	30	(3) 視点3くらし 中学校給食への地場農産物の導入について検討する旨を記載した方が良いと思います。	B	「給食における地場農産物の利用促進」については、中学校も含め、秦野市の学校として取組むため、評価指標も中学校を含めた目標値としています。
14	第4章	33	前計画の基本施策の1つであった「管理栄養士等の研修と配置の促進」が削除されているが、栄養士など、現場を指導する人を削除するのはどうかと思う。	E	管理栄養士等の研修は引き続き実施していくものであり、適正な配置については要望をしていくものですが、計画への位置づけは妥当ではないと判断し、削除したものです。
15	第5章	36	6行目「…新型コロナウイルス感染症拡大防止のための…」とありますが、言葉の意味を考えて、下記の記載内容にした方が良いと思います。 旧≫ …新型コロナウイルス感染症拡大防止のための… 新≫ …新型コロナウイルス感染症拡大防止のための…	A	御意見を参考に修正しました。
16	第5章	36	(1) 食習慣の向上 朝食欠食の割合の指標にて、3歳児・小学生・中学生の目標値が「0%に近づける」となっていますが、例えば0.1%数値を下げて、この指標内容だけ見れば、目標達成となります。しかし、それでは目標設定としては、とても甘いと思いますので、「0%以下」のように今より具体的に目標値を設定した方が良いと思います。※他ページにおいても同様。 また、現状値はいつの時点での数値で、目標値は何年後の数値としているのか、表内に記載するべきだと思います。※他ページにおいても同様。	D	前計画においては欠食割合0%を目標として取り組んできましたが、様々な事情により食べられないこともあり、0%は現実的ではないと考え、県の目標値を参考に変更しました。引き続き、朝食を食べることの大切さを伝える取組を実施し、欠食率の低下を目指していきます。 なお、現状値や目標値の年度については、ご意見を参考に修正しました。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第3次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
17	第5章	36	朝食に関する指標は20～30歳代で終わっているが、40～50歳代くらいまでであるといいのではないか。また、働き盛りの人は生活習慣病などになりやすい年代でもあり、企業への働きかけやPRが必要ではないか。企業内でどのような取組をしているかなど、企業に対するアンケートを実施するのもよいのではないか。	C	20～30歳代男性は特に欠食割合が高く、子育て世代で子どもへの影響も大きいと思われることから、県や国と同様に指標としています。いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
18	第5章	36	中学校給食が始まることで、中学での食育の取組も広がり、朝食の喫食状況もよくなるのではないかとと思う。	E	中学校給食通じた食育活動を推進することで、様々な効果が発揮できるよう取り組んでまいります。
19	第5章	37	ポンチーヌの活動はとてもよいと思うので、応援している。がんばってほしい。ポンチーヌの活動は効果があると思うので、その効果に対する指標があるとよいと思う。	B	子どもへの食育がその親世代へもつながると考え、食育キャラクターを活用した食育の推進を図ります。取組みに対する評価として、ポンチーヌを知っている人の割合を指標としています。
20	第5章	40	食育は皆で楽しく食事をしようということが基本にあるが、コロナ対策も踏まえた共食の対応、あり方についても記載してもらいたいのではないか。	C	今後の事業実施において、参考にさせていただきます。
21	第5章	40	共働きが増え、共食の習慣付けが難しい部分があるが、子どもにとっては食事のあいさつなどマナーを伝える場にもなるため必要だと思う。	E	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
22	第5章	41	体験型農業の推進については、体験だけでなく食べるまでを行うことで食育につながるということを考えていただきたい。	B	認定こども園では、体験型農業において園児が収穫した作物を給食に取り入れ、それを食べるまでを行うことで食育に繋がっています。また、学校では、授業で栽培した野菜を使った調理実習や、米作り体験で収穫した米を給食で使う等を行っているところもあります。引き続き、栽培から収穫、調理、喫食までの一連の過程を体験し、食への興味や関心を高める取組みを行っていきます。
23	第5章	41	体験活動にはどのようなものがあるか。子どものころから親と一緒にいき、体験的に学ぶことは大切であると思う。	E	農業振興課では、月に1、2回「親子地場産野菜教室」を実施しています。当事業では、親子で食べ物への感謝、命への感謝、作ってくれる人への感謝の心を育むことを目的に実施しており、親子で1年を通じ野菜を育てたり、育てた野菜を料理したりして、「食」や「農」の大切さを学んでいます。また、認定こども園や小学校では、体験型農業として菜園活動をしており、地域農家の協力のもと、植え付けや収穫を行い、それを食べるまでの体験をしています。
24	第5章	43	秦野のできる食材（野菜）は季節により決まっており、すべての食材が一年を通じて収穫できるわけではないため、地場産物の使用割合を上げるのは難しいのではないか。	C	本市の旬の野菜や季節ごとの収穫量を踏まえた献立の工夫等を行いながら、1年を通じて地場産物を活用できるよう、取り組んでまいります。
25	第5章	43	学校給食への地場産物の納入について、区画により納入先を決めておくなど生産者と納入先の関係を分かりやすくすると良いのではないか。生産者にとっては農産物を作る励みにもなり、児童や生徒にとっては生産者に対する意識を持つことで残すことが少なくなるのではないか。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第3次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
26	第5章	43	地産地消について、農協以外にも他の組合などに委託栽培などをしてもらえるとよいのではないか。	C	地場産物を活用した学校給食事業を推進するとともに、使用する食材等について積極的に発信し、より多くの生産者の皆さんに参画していただけるよう取り組みます。
27	第5章	44	食品ロスやごみの問題が気になっているが、中学校給食についても残食がないようお願いしたい。	B	おいしくて生徒が喜ぶ給食を実現し、食育活動を行うことで残食が出ないよう取り組みを進めます。
28	第5章	44	(2) 環境に配慮した食育の推進 【評価指標】として、「可燃ごみ排出量」が記載されていますが、可燃ごみには可燃性プラスチックやティッシュなどの紙類もあるので、食べ残しなどの完全な指標になりづらいと思います。	E	可燃ごみは、厨芥類（食品残渣）、紙類、プラスチック類、繊維類などに分類されます。平成28年度に実施した組成分析調査では、食品残渣は約30%を占めており、これらの削減が可燃ごみ減量に大きな効果として現れてくると考えます。
29	第5章	44	(2) 環境に配慮した食育の推進 秦野市では、「生ごみ持ち寄り農園」という事業がありますが、それを指標の新規項目として加えるか、既存の評価指標に加えてもよいと思います。 また、現在、実施しているか分かりませんが、新規事業としてフードバンクは、食品ロスに対して効果的な取り組みだと思えます。もし、すでに実施していても、未実施であれば新規事業として、その旨を記載した方がよいと思います。	C	ご意見として参考とさせていただきます。フードバンクについては、社会福祉協議会において、生活困窮者世帯のご自宅に直接食品を配送するフードバンクの団体と契約し、随時、必要とする食品を調達しています。なお、環境資源対策課では、ごみ減量の観点からはイベントを通じ、フードドライブ（家庭で不用となった食品の持ち寄り受付）を行っています。
30	第5章	44	(2) 環境に配慮した食育の推進 取組欄の「⑤水や環境に配慮した体験活動の推進」にて、「食を通じて水や環境について考え…」とありますが、食を通じて環境については考えやすいと思えますが、食を通じて秦野名水について考えるのは、無理があるように思えます。 秦野市ホームページにて、「はだのエコスクール」や「秦野名水フェスティバル」の内容を拝見しましたが、食に関する内容がなかったので、これからその取組を行うことであれば、無理がない学習内容等にしてください。	E	水は、食物（野菜、穀物、肉・魚類等）を育む不可欠な要素です。安全な水で育った食物は、安心して食べることができます。また水は、調理においても重要です。食べやすさや味に影響します。さらに、水そのものを飲用することもあります。これらのことから、水を安全・安心・おいしいといった視点で考えることはとても大切となります。本市では、この水が秦野名水になります。 「はだのエコスクール」や「秦野名水フェスティバル」については、いただいた御意見を今後の取組みの参考にさせていただきます。
31	第5章	45	「もったいない」とあるが、給食の残食について、ごみ減量の視点からも取り組めるとよいと思う。	B	おいしくて生徒が喜ぶ給食を実現し、食育活動を行うことで残食が出ないよう取り組みを進めます。
32	第5章	45	「食品ロス削減」については、保存食に関する技術についても入れてもらえるとよい。（食べきれなければ冷凍するなど）	A	いただいた御意見を参考に、修正しました。
33	第5章		市でははだのモービクにより様々な発信をしているが、食育でも利用するなど発信の仕方を検討していただけるとよいと思う。	C	現在も離乳食についてや、「Happy Dish Note ～幸せの料理帳～」など、はだのモービクを活用し、食を通じた子育て支援や健康増進に関する発信をしています。今後も発信方法について工夫していきたいと考えます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第3次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
34	第6章	50	「6章ライフステージごとの取組」は、5章までとの関連性が感じられず、違和感があるため、5章の取組内容と関連付けてはどうか。	A	いただいた御意見を参考に、修正しました。
35	第6章	51	ライフステージごとの取組が記載されているが、実践してもらうためにどのような取組をしていくのか。また、様々な課が関係しているが、推進委員会はあるか。	E	基本目標別の基本施策のとおり、各担当課がそれぞれの事業等において取組めます。計画の推進のための庁内会議や、関係団体、市民、学識経験者等で構成する食育推進委員会を設置し、進行管理を行います。
36	第6章	55	5 高齢期（概ね65歳以上） 項目名と1行目の文頭の始まりが、前頁までと異なっています。	A	御意見のとおり修正しました。
37	参考資料	60	地場産物を使用することが食への興味につながると思う。また、地場産物を守っていくことも教育であると思う。学校における地場産物の使用割合について、数値が上がらない理由を把握し、対策をしないと目標達成は難しいのではないかと。予算の問題もあると思うが、他市では特産品を積極的に取り入れているところもある。先進事例を参考に、情報共有しながら行ってほしい。	C	本市の旬の野菜や季節ごとの収穫量を踏まえた献立の工夫等を行いながら、生産者や関係機関と連携し、地場産物の利用拡大に努めていきます。
38	参考資料	60	前プランの達成状況はABCで評価されているが、何%以上がAなど区分を設け、パーセンテージで評価したほうが良いのではないかと。状況が把握しやすく、もう少しがんばればAになるなど、意欲を高めることにもつながるのではないかと。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
39	参考資料	60	目標を達成していない項目が多い。目標値設定の仕方の問題もあるが、意識の欠如も原因であると思う。	C	意識を高められるよう、さらに普及啓発を図っていきたくと考えます。
40	参考資料	67	SDGsの内容について記載があるが、もう少し広く関係するものがあるのではないかと。（例えば栄養不足の解消などは「2. 飢餓を0に」に当たるのではないかと。）	A	いただいた御意見を参考に、修正しました。
41	その他全般		いろいろな種類のを食べることが必要であると思うが、1日何種類以上食べるというなど、具体的に記載してはどうか。	C	今後の事業実施において、参考にさせていただきます。
42	その他全般		食育は心と体の健康に必要なであると思うが、まずは体が健康でないといけないということを加えてはどうか。	B	食育は、心と体のどちらの健康にも、とても大切なことであると考えます。
43	その他全般		計画に書かれていることは理想であるが、コロナ禍であり高齢者やみんなの食堂なども共食を進められない現状がある。現状の問題をしっかりと把握しながら取り組んでいくということを説明していく必要があり、理想論だけにならないようにしてほしい。	C	コロナ禍で休止している事業や内容を変更して実施している事業もありますが、今後の5年間に目指したい内容を記載しています。現状をしっかりと把握しながら取り組んでいきたいと考えます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第3次はだの生涯元気プラン（秦野市食育推進計画）案」に対するパブリック・コメントに寄せられた市民からの御意見・提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
44	その他全般		計画は普段の生活を送っているときの内容であるが、災害時などについてはどうか。	E	災害時等における食支援については、市民の健康が保持できるよう、栄養や食生活を含めた保健活動の体制を強化するため、防災部局と連携して進めているところです。
45	その他全般		エイジフレンドリーシティとの関係はどうか。	C	本計画においては明記していませんが、食育を通じて目指すべき本市の姿はエイジフレンドリーシティの趣旨に通じるものと考えます。今後の連携の際の参考とさせていただきます。
46	その他全般		食育は重要なものであると思う。中学校給食を通じて食育を行っていくことも、重要なポイントになると思う。	C	学校や保護者と連携し、給食を通じて中学生に合わせた食育活動に取り組みます。
47	その他全般		健康と食のつながりを考え、どう健康を維持していくのかを考える時期がある。小、中学校で食育を受けているが、健康への意識や気持ちが出てくるタイミングで啓発することが大事であると思う。20代などの若者に食育を啓発する必要があると思うが、例えば成人式に啓発物を配布するのはどうか。食育を意識するよいタイミングであると思う。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
48	その他全般		朝食欠食は生活リズムと関係していると思うが、今は塾に通っている子どもも多い。塾に行く時間によって望ましい食事の取り方が違うと思うが、ベストな食事のあげ方を親に伝えていく必要があるのではないかと。	B	児童・生徒に配布している「家庭学習攻略本maNAVI」保護者向けリーフレットで食事の取り方やバランスの良い食事について周知しています。
49	その他全般		食育を管理する部署を作るべきであると思う。組織体制作りも考えてほしい。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
50	その他全般		他市では、行政全体として食育に取り組んでいたが、本市では行政全体に広がっていないように感じる。横断的に取り組んでほしい。	C	いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
51	その他全般		健康を害すると食についても意識するようになる人が多いと思うが、健康な時から気を付けることが大事であると思う。運動も大事であり、筋力が低下するとフレイルにもつながるため、運動も推進してほしい。健康状態が悪くなってから考えるのではなく、悪くなる前に考えることができるように取組を進めてほしい。	B	御意見のとおり、健康なうちから食や運動を継続的に意識することが重要と考えます。本計画と関連のある「健康はだの21」等に基づき、運動や身体活動の取組を進めています。
52	その他全般		朝食欠食率改善の観点から、公民館等、広畑ふれあいプラザ、末広ふれあいセンター等の公共施設に、朝食を提供し、同時に簡単な朝食の調理法を伝授する子ども食堂の機能を、終日確保してはどうか。	C	朝食をとる習慣をつけることについては、認定こども園や学校、各事業等において啓発を図っていますが、引き続き、食習慣の向上に向けた取組を進めていきます。 子ども食堂（みんなの食堂）については、市民団体が主体となり、地域で運営しています。これまで市は施設予約や周知、補助金の交付など側面的な支援を行ってきました。朝食の提供等を目的とした子ども食堂を実施する市民団体等があれば、同様の支援を行うことはできませんが、市が主体となり、子ども食堂を運営する予定はありません。 いただいたご意見は、今後の取組において参考とさせていただきます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組において参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)